

# コロナ禍で浮かび上がった 女性・シングルマザーの貧困と格差

2022.3.26精神保健福祉士会 貧困プロジェクトセミナー  
大阪社会保障推進協議会事務局長/一般社団法人シンママ大阪応援団代表

寺内順子

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## 寺内順子の自己紹介

- 1991年から現在まで、大阪社会保障推進協議会(大阪社保協)という団体の事務局をしています。2005年から現在まで事務局長。
- 2015年5月に大阪社保協がシンママ大阪応援団という団体のサイトを立ち上げ。
- 2018年3月に一般社団法人化し、大阪社保協から独立
- 現在200世帯500人のシンママ(シングルマザー)と子どもたちおよび一人親世帯で育った女性たちをサポート
- コロナ禍のもとでの活動の2大柱は  
①スペシャルボックス(食料等送付事業)と②拠点Zikka(実家)運営事業

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

シンママ大阪応援団によろこそ！

このサイトはシンママになった方、  
またシンママになる前に悩んでいる方に向けて  
作ったものです。



シングルマザーとこども支援サイト

シンママ大阪応援団

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.



まずは自分を大切にしてください。

夫やパートナーからされる行為、発せられる言葉など、  
あなたがいやだと感じているなら、  
その気持ちを大事にしましょう。

あなたを支えようとしてくれる人たちは  
たくさんいます。

とにかく、このサイトを見て  
思い当たることがあればいつでもご相談ください。



©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## ママたち、女性たちからメールでSOS

### SNSの良さ

- 顔が見えないから相談しやすい
- 近くじゃないから言いやすい
- 必ずすぐにリターン
- 相談より「食べ物ありますか？」

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## シンママ大阪応援団の基本スタンス

- 会えるようなら会う
- 緊急性がある場合はすぐにTEL
- たいていは交通費がしんどいのでこちらから出向く
- メールのやりとりだけの場合も
- 若い女性なので必ず美味しいお菓子、ケーキを介在させる
- こちらからは言い出すまでもなにも聞かない
- いま困っていることだけを聞き、解決するためにサポートする
- 「本当の貧困者」探し、「かわいそうな人認定」はしない

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## 大切にしているのは・・・ケーキ!!

- なぜなら
- シンママさんというのは10代後半から40歳代の若い女性たちだから
- 女性たちはスイーツが大好き
- とりわけケーキ、手作りケーキが大好き

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## シンママ大阪応援団活動の2大柱

- ①毎月何も言わず聞かず必ず送るスペシャルボックス(食糧・日用品等送付事業)
- ②拠点zikka(実家)運営事業  
～ごはん会、お泊り、お料理レッスン、相談、  
緊急一時保護、産後ケア等々 なんでもあり

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## 毎月必ず送るスペシャルボックス

○2016年11月からスタート

「毎月末には預金残高が1000円未満になるのでおろせず一週間パスタと塩コショウで暮らします」

○2020年2月61世帯⇒2020年12月124世帯⇒2021年12月191世帯  
⇒2022年2月240世帯

○明らかにコロナの中で急増

○送付先は岩手、東京、神奈川、千葉、愛知、三重、大阪、京都、滋賀、奈良、兵庫、広島、徳島、沖縄

○毎月100人以上のサポーターさん(応援してくれる方)が関わる

○スペシャルボックスはサポートの入り口。ここからながい付き合いが始まる。

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## コロナ禍2年 とにかくどんなことがあっても スペシャルボックスを送り続ける

○毎週、特に月曜日にメールで入ってくるSOS

○2020年2月63世帯⇒2022年1月190世帯

○「コロナで収入が減り子どもに満足にご飯が食べさせられません」「生活が苦しいです。お米を送ってほしいです」「三度の食事がままなりません。なにか支援をしていただけないでしょうか」

○なんにも聞かず、とにかくスペシャルボックスを送り続ける。

○ボックスを受け取ったらできるだけメッセージを送ってもらう。

○メッセージに近況や困りごとがかかっている。

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## 2021.9 シンママアンケートを実施

【調査概要】シンママ大阪応援団でサポートしているシングルマザーを対象に、就労や収入の状況や生活の困りごと、サポートを経た変化などについてアンケートを実施し、生活実態およびサポートの効果を明らかにする資料とする。

【対象】サポートを実施している168世帯（2021年9月現在）のうち、月末にスペシャルボックスを配送している88世帯のシングルマザー

【実施期間】2021年9月 回答率：47%（回答数41件）

【調査主体】シンママ大阪応援団、分析協力：龍谷大学砂脇恵先生

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## アンケート結果～コロナ前後の収入の変化

コロナ前後の収入	度数	%
変化なし	15	36.6
増収	5	12.2
減収	17	41.5
無回答	4	9.8
	41	100.0

減収：17人中、  
パート・アルバイト：8人（47.0%）  
正職員：4人（23.5%）

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## アンケート結果～コロナ後減収した理由

収入が減った（17人）理由	度数	%
失業	7	41.2
シフト減	5	29.4
転職	2	11.8
賞与がなくなった	1	5.9
社会保険料や税金が増えた	1	5.9
その他	1	5.9
計	17	100.0

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## アンケート結果～失業後の収入源

失業（7人）と回答した人の収入源（複数回答）	度数	%
失業保険	0	0.0
生活保護	3	42.9
障害年金	1	14.3
緊急小口資金・総合支援資金	1	14.3
各種手当	2	28.6
貯金切り崩し	2	28.6

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## シンママアンケートからわかったこと

### ○ボックスでうれしいもの、欲しいものダントツ一位はお米

スペシャルボックスの中に入っていて嬉しいものと優先順位高いものから5つを選択(優先順位1位6点、2位5点……順位がつかないものは1点と加算)①

①米180点 ②手作りケーキ67点 ③お菓子65点 ④洗剤石鹼64点 ⑤ラーメンカップメン乾麺48点

○「お米がある」「お米のストックがある」＝「心の安定」  
＝「生きようと思える」につながるとの声が多く、ママから寄せられた

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## 何がシンママ世帯を困難にしているのか

●特に2022年1月からの第6波オミクロンは子どもから親へ感染拡がる

⇒保健所が機能していないため自治体の食糧支援につながらない

⇒お金がなくストックのないシンママ世帯は「食べ物がない」状態にすぐに陥る。

⇒2月はほとんど仕事に行けなかったため、給料がほぼなく、3月の生活費がない状態に。

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## ママたちからのSOS

★コロナ陽性で26日から自宅療養しています。ずっとあまりにしんどくてトイレ以外は寝ていました。保健所からはまだ電話がありません。それまで頂いたカップ麺やレトルト、出前などで食い繋いでいましたが、仕事もずっと休みでお金ももうほとんど無いです。数日分の食べ物がありましたら頂きたいです。

★子供が今朝、38.8℃、抗原検査したところ、コロナが判明しました。家族全員、自宅待機となります…。病院の先生に、コロナ感染の登録はしておきますが、保健所とも連絡取れないかもしれないと言われ、どうすればいいのか不安しかありません。食材もすぐに尽きます…。仕事も行けないし、入学もあるのに。すいませんが、食材をお願いできないでしょうか…。もう、食費が使えません。

★昨日、私がコロナかかり、自宅療養中です。1人でなるべく部屋にこもり(しんどいので何も出来ないのですが)8歳の子に3歳の面倒を見てもらっています。食事はチンできるものパンなどを食べるように言っていますが、置いていたものもなくなり、どうしようかと思っています。何か使える制度等ありましたら、教えて頂けると助かります

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## コロナ禍で生まれた新たな課題～オンライン

- 2020年4月から学校でも「オンライン」が主流に
- オンラインができないと授業も受けられず、大学受験もできないし、就活もできない。
- オンラインに必須なのは、スペックのいいノートパソコン・Wi-Fi・プリンター⇒オンラインはお金がかかる⇒貧困なシンママ世帯には高嶺の花
- 小学校・中学校では、これらに対する給付・リースなどもあるが、高校生大学生にはほぼなんの支援もない。

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## シンママ大阪応援団独自事業 2021年11人の高校生大学生にオンラインサポート

### □サポート内容

基本は、ポケットWi-Fi+3年分の通信料+新品ノートパソコン+基本ソフト+周辺機器(プリンター等)の現物給付。必要な場合はセットアップやzoomについてのサポートも行う。

□第1回募集 2021年1月→3月6人に給付

□第2回募集 2021年8月→10月5人に給付

□原資はサポーターさんからの寄付約200万円を使って。

⇒2022年度も独自財源で実施

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## ママと子どもたちの生活を 安定させるためには

民間によるきめ細かなサポート

自治体による重層的なサービス

ひとり親に対するホームヘルプ事業・保健師による家庭訪問・住宅政策等

生活の安定のために国の制度

最低賃金・児童手当・児童扶養手当・生活保護等

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.

## 既存制度が給付も早く確実、さらなる拡充が必要

---

具体的には

- 児童手当を18歳まで、少なくとも現行の倍額に。
- 児童扶養手当はすべてのひとり親世帯にいる子どもたち全員に同額の支給を。離婚に至っていない実質ひとり親世帯にも支給を。
- 住居確保給付金を恒常的な家賃保障制度に。
- 給付型奨学金制度の拡充と、コロナ対応の奨学金返済免除制度の創設を。
- 生活保護制度の様々なハードルを下げ最低生活費以下の収入であればいつでも誰でも簡単に利用できる生活保障制度に。

©2022 Jyunko Terauchi All Rights Reserved.